

ディスクカバー 佐倉

第2回



見どころ豊富な寺崎の 密蔵院

薬師堂

本堂

由緒ある密蔵院！

道幅の狭い寺崎の家並みの路地を抜けた丘の上にある(旧寺崎村字新小路)本堂が、日光山密蔵院光明寺と言われ、本尊は阿彌陀如来。開創は、享保年代以前と言われ、もとは別な場所にあったが火災により焼失し現在地に移築されたが、享保九年(1724)に再び火災に遭い、同十二年に再建された。真言宗豊山派の総本山長谷寺(奈良県桜井市)の末寺にあたる古刹である。境内には大師堂と薬師堂があり、本堂に向かって左手側の石段を上った高台にある薬師堂の本尊は「薬師瑠璃光如来」であり、現存する仏堂建築様式が佐倉市指定文化財になっている。この辺りは、歴史的な厳かさを感じられる良い雰囲気が漂い、薬師堂の前に立つと思わず手を合わせたくなるような処であった。

納行事として俵担大会、相撲大会を催行して体力増強を奨励していた。その日頃の鍛錬用の基礎石が「力石」(約百kg位)と呼ばれ、現在も薬師堂の境内に保存されている。

眺望の素晴らし寺崎城跡！



薬師堂への階段

薬師堂の裏手に回ると小高い物見台があり、元寺崎城があったとされる史跡の場所である。千葉氏第16代胤直の時、内紛で千葉城が落城して嫡子胤将が逃げのがれ、寺崎に築城したという。その後、本佐倉城に移城され廃城になったと言われている。その物見台に立つと、眼下には印旛沼を水源とした鹿島川が流れ

る田園風景が広がり、右手遠方に筑波山の雄姿があり、さらに天気の良い空気の澄んだ日には富士山も望めると言う素晴らしいパノラマの展望台であるとわかった。そばに石碑があり「城山のぼりて見れば野の果てに勝鬨あける武士ら顕つ」と刻まれていた。時代を超え思いを馳せると美しい自然の風景に心が癒やされる瞬間であった。



寺崎城跡の石碑

取材担当 / 広報委員 長谷川 幸雄
写真撮影 / 広報委員 秋元 正之



力石



密蔵院へのアクセス

J R佐倉駅北口から徒歩20分(約1.6 km)

最寄りのバス停、寺崎バス停から徒歩8分

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ



左より 佐々主任、川崎理事長、檀上常務理事兼事務局長、齊藤課長

人材センター訪問 第8回 白井市シルバー人材センター

梨の収穫日本一を誇る千葉県で、その収穫量及び作付面積の第一位が白井市です。今回はこの地で活動する白井市シルバー人材センター(白井市SC)を訪問し、川崎理事長、檀上常務理事兼事務局長、齊藤管理課長並びに佐々業務課主任にお話を伺いました。

【佐】白井市シルバー人材センターの特徴を

【白】会員は「入会してよかった」と、お客様は「またシルバーに仕事を頼みたい」と、そして会員の家族は「シルバーで生き生きしているね」との思いが途絶えない運営を心掛けています。

【佐】白井市SCの普及・PR活動として取り組む事は

【白】地域の紙面を活用した情報発信と行政等の行事への参画を続けています。その効果を当SCの企画行事への応募動機で測ると、市の広報誌「広報しろい」で情報を知ったことが最多です。講習予定は1日の広報誌で、会員募集・入会説明会は15日のもので案内します。それ等の他に、特集記事の企画を市と粘り強く折衝を続けたのが実を結び、2020年11月1日発行の「広報しろい」では、全8面の第1面、第2面及び第3面の上半分を割いて「シルバー人材センター特集」が組まれました。ホームページを面白いものに仕立て直すことも検討中で、全国のSCのそれを研究しています。

【佐】HPによりますと、女性会員の増強策等でユニークな企画があまり見られませんが

【白】資生堂主催の「シニアビューティーアップ講座」を企画しました。幾つになっても美しくありたいと願う話をヒントに、シルバー世代の女性向けに具体化しました。15名の応募があり、受講後の表情には生気があふれ、見違えるようでした。職群の手工芸班では、その特技を活かした手作りマスク500枚を被災地に寄付する活動に女性が大活躍です。

【佐】前年度は8種の「指定管理講習会」を全15回開催。どのようになっていますか

【白】当SCが活動拠点をおく「白井市高齢者就労指導センター」の管理を市より任されています。これには60歳以上の高齢者の就業を支援する技能指導も含まれており、視・障子の張替えや家事援助等の技能を無料で指導するのが「指定管理講習会」です。前年度の受講者は143名で、講習終了6ヶ月後には就業状況や要望等のアンケートをします。

【佐】梨栽培には専門の技能・知識が必要ですが、受講される方は

【白】梨栽培には専門の技能・知識が必要で、春の花芽摘みや秋の収穫には短期集中的に人手を要します。この講習で学んだ会員が繁忙期の短期の手伝い仕事に就きます。今春の受講者は20名ほどでした。

情報発信力の向上への熱意とシニアビューティーアップ講座の斬新な企画力は印象的でした。シニア向け男前アップ講座もこのSCで開催される予感があります。(完)

取材担当 / 広報委員 徳野 廣一

白井市SCの概要

区分	白井市SC	佐倉市SC
会員数 (令和2年11月末)	509名	1,083名
女性比率 (令和2年11月末)	20.4%	30.1%
受注件数 (令和元年度)	1,107件	18,089件
受注金額 (令和元年度)	198,079千円	568,027千円
公共:民間比率	35:65	15:85
人口 (令和2年11月末)	63,195人	173,740人
面積	35.48km ²	103.69km ²

※白井市SCの会員数は令和2年12月15日時点で531名に増加

職群紹介

生活支援サービス班

今月はおお客様の日常生活に一番密着した仕事をされている、生活支援サービス班取材しました。生活支援サービス班の仕事は、家事仕事中心の生活支援と特殊技能を使った生活支援と大きく二つに分かれます。現在登録している会員は約240名と一番大きな班であると共に、仕事の内容も広範囲に及ぶ為、事務局では2人が窓口業務を担当しています。



家事仕事の生活支援

事務局の窓口担当は池田さん。担当する登録会員は約200名で、そのうち約100名が実働しているとのこと。主な仕事はお一人住まいの高齢者の生活支援で、掃除、買物、食事作り、最近増えてきているのが部屋の片付けとのこと。

新しい仕事の依頼が来た際は、会員と一緒にお客様宅に下見に行くことも多いとのこと。



事務局 池田さん

30分以内で終わるちょっとした生活支援には、シルバー救援隊(ワンコインサービス)がありますが、これも池田さんの担当です。仕事は8割がゴミ出し、その他は電球交換、灯油補給などで、仕事が終わる都度その場でワンコイン、500円の料金を支払って頂くシステムです。

生活支援サービスの仕事は日常生活での繰り返し仕事のため、お客様と会員の信頼関係が大事で、同じお客様に長く契約が続く例が多いとのこと。

また会員はボランティア精神を持っていないと長く続かない仕事とのことでした。



佐藤さん→



特殊技能での生活支援

主に特殊技能を必要とする生活支援サービスを窓口担当している宮下さんからもお聞きしました。現在登録している会員は35名。仕事はフェンスやブロック塀の補修、ちょっとした土木・木工仕事、水道関係、シャワーやトイレの取り付け、電気工事、家具・建具の修理・調整など多岐に及びます。変わった仕事として、夏の季節のハチの駆除などもあります。仕事の内容が千差万別ですので、事前に現場で下見をすることが欠かせないとのことでした。

窓口担当の池田さんと宮下さんから紹介して頂き、実際の仕事の現場を2件取材させて頂きました。

屋外コンセント設置工事

国家資格を必要とする特殊技能工事をやる佐藤さん取材しました。現役時代は無線通信のお仕事をされ、第1種電気工事士の資格も持つ佐藤さんが会員になったのは10年前。現在多いのはスイッチやコンセントなど



の取り替え工事で、仕事は週に1件程度あり、ちょうど良い量とのことでした。

当日の仕事は、車庫に停めてあるシニアカーに充電する為の屋外コンセントを取り付ける工事です。裏庭側の屋外コンセントからゴム被覆ケーブルを地中に這わせ、車庫近くに取り付ける屋外コンセントまで引いて来ます。前日にセンター事務局から仕事依頼があり、早速当日10時前から現場で下見と打ち合せ。必要な電材をホームセンターで購入して12時には作業開始。ドライバーからノコギリまで七つ道具でパンパンに膨らんだ工具バッグを腰に付けて作業する姿は、見るからに電気工事の専門家でした。午後2時には予定通り作業が終わり、最後は実際にシニアカーに充電ができることをお客様に確認して頂きました。お客様からは「これからは充電の度に玄関の窓からコードを出したりすることも要らなくなります。近くの電気屋さんをお願いしてもやってもらえませんでした。本当に助かりました。」との感謝の言葉を頂きました。

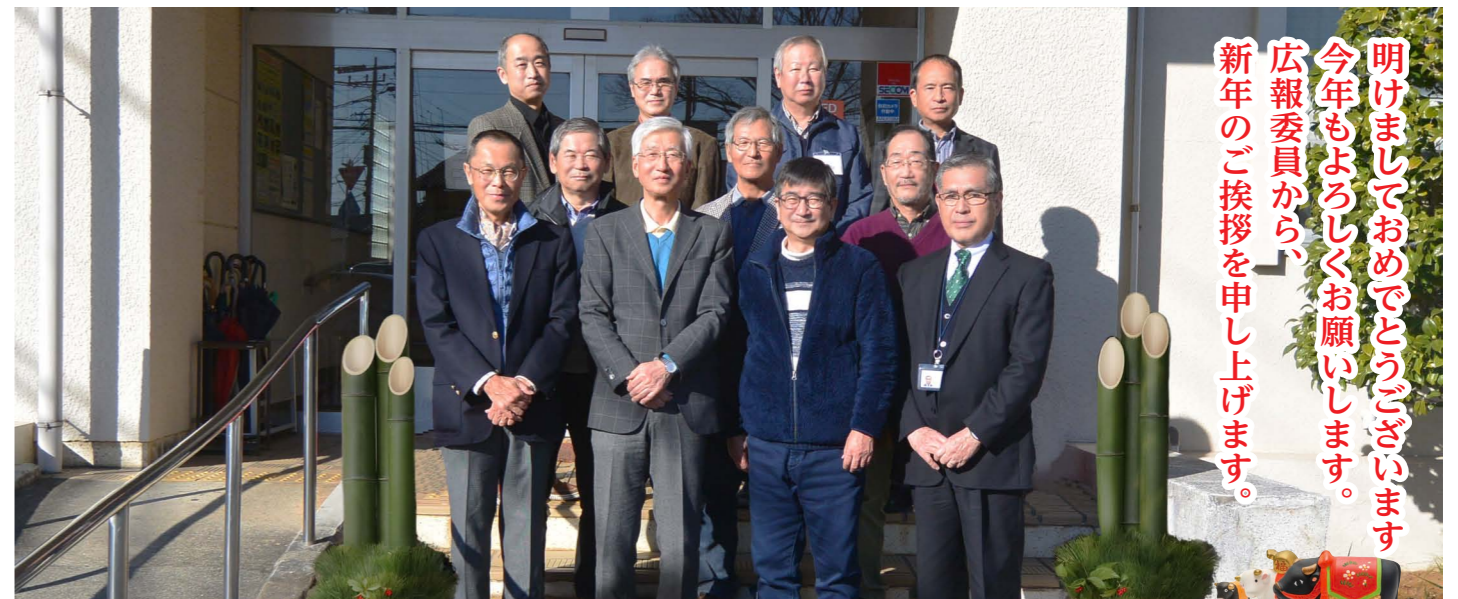


お客様はセンターの大先輩

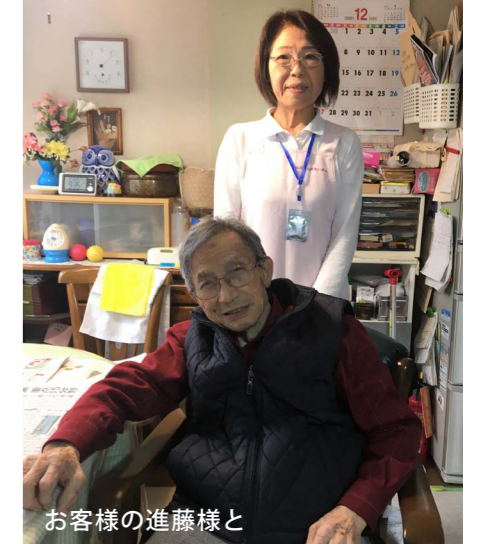
家事支援仕事では秋田さんのお仕事を取材しました。秋田さんが入会したのは5年前、介護の仕事の後、生活支援サービスを始めて約3年。



この仕事で特に気を付けているのは、ガス・電気・水道などの締め忘れ・消し忘れをしないこと。更には今は当然



運転、気を付けてお帰り下さい。」とお気遣いの言葉をかけて頂きました。



お客様の進藤様と

取材にご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

記事担当 / 広報委員 小野寺 弘孝

生活支援サービスの様子は
スマホでご覧下さい

動画



昨年実施したアンケートの結果を受け、「ディスプレイ」や「人と趣味」などの記事を掲載するようにしました。今後とも親しみやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思います。
委員長 長田 成児
副委員長 葛西 正敏
今年も宜しくお願いたします。
取材を通して様々な方にお会いでき、センターについて知る事ができました。これからも読みやすい記事になる様、心掛けたいと思います。
小野寺 弘孝
今年の心がけです。取材はしっかりと！記事は明るい調子で分かり易い仕立てに！どうぞよろしく。
徳野 廣一
QRコードをご存知でしょうか？スマホやガラケーで当センターのホームページが簡単にご覧になります。ぜひ一度お試しください。
秋元 正之
昨年はコロナ禍でイベントが少なく動画取材は少なくなりました。今年も分り易い動画の作成に努めていきたいと思います。
杉浦 重次
コロナ禍の活動制限のなか、取材や原稿草案など貴重な体験ができました。未だ納得ゆく記事に至りませんが、干支の牛のごとく一歩ずつ前進して行く所存です。
長谷川 幸雄
「見て」「読んで」いただける紙面づくりを心がけます。どうぞよろしくお願いたします。
高橋 満

明けましておめでとうございませ
今年もよろしくお願いたします。
広報委員から、
新年のご挨拶を申し上げます。